

小規模セキュリティシステム“ MELSAFETY - P ”

Small Scale Access Control System“ MELSAFETY - P ”

入退室管理システムは、ビルの安全運用のためのインフラとして導入されてきた。近年、情報漏洩(ろうえい)防止の観点からも重要性が増し、2005年4月施行の個人情報保護法に対する基本的な対策として関心が高まっている。今後、入退室管理システムは、保護法対策の一貫として、テナントや事務所など小規模分野への普及が予想される。このような背景の下、当社は、入退室管理システムのエンタープライズモデルとして、MELSAFETY-Pシリーズを製品化した。Pシリーズは、小規模セキュリティ向けのパッケージ製品で、指紋照合装置を用いて個人識別をする指紋認証型と、カードリーダーを用いるカード認証型のコンポーネントから構成される。指紋認証型は、従来機と比較して指紋照合性能を大幅に向上したFPRmk4のコンポーネントでラインアップされる。カード認証型は小規模向けに新規開発したコンポーネントで、以下の特長を持っている。

(1) 入退室管理機能のWeb化

個人登録、履歴管理、スケジュール設定など入退室管理の基本機能をWebブラウザ(Internet Explorer5.0以上)から実行できるようにコントローラにWebサーバ機能を搭載した。Web化により、イントラネット接続のパソコンから設定変更や履歴閲覧が簡便に実行できる。専用ソフトウェアが不要で、安価にシステム構築が可能である。

(2) 非接触ICカード/磁気カードの両方式に対応

認証手段としては、操作性に優れた非接触ICカードと、コスト重視の顧客向けに磁気カード(JIS型)の両形式をサ

ポートしている。非接触ICカードは、現在主流となっているFeliCa(フェリカ)カードとISO15693(近傍型)に対応している。入退室専用であればISO近傍タイプを、ビル・施設内でカードの多目的利用をする場合にはFeliCaカードを使用するなど、利用者のニーズに応じた運用が可能である。磁気カードは、普及率が高いことから、客先カード(社員証等)を有効活用するためのシステムに適用する。

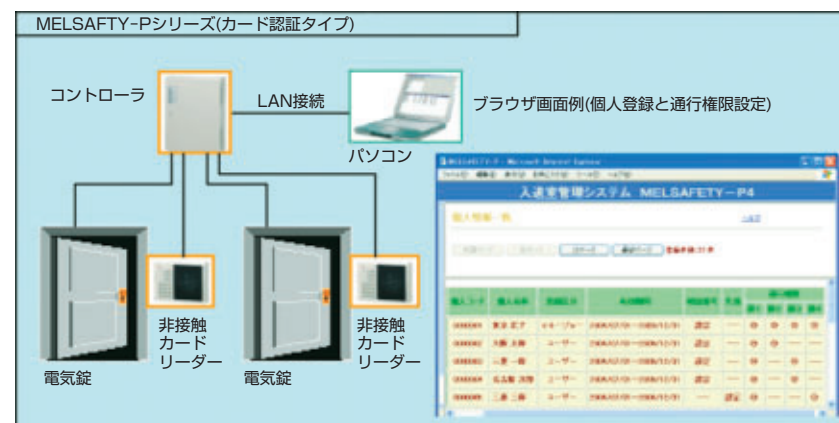
(3) 扉構成別に3種類のコントローラをラインアップ

コントローラは最大扉数が1扉/2扉/4扉の3種類のモデルを提供し、扉構成(区画数)に応じて最適なシステム構成を選択できるようにした。各扉の管理は、入室だけでなく、アンチパニックによる入退室チェック機能を持っている。サーバ室など重要エリアで求められるセキュリティ機能にも対応している。

(4) スタンドアロンでの運用容易化

MELSAFETY-Pシリーズは、パソコンの常時接続を必要としないスタンドアロン型システムでの運用を基本とする。管理者ユーザーには、カード登録・照会・削除などの基本機能をカードリーダー端末からの操作だけで実行できる権限を与え、運用の利便性を図っている。

コントローラには、最新の通行履歴(1万件)と警報履歴(1千件)が蓄積される。パソコン接続時にこれらの履歴情報を収集することで、不正利用や機器異常の有無を確認することができる。



システム構成とブラウザ画面例

海外向け“ ELEMOTION ”

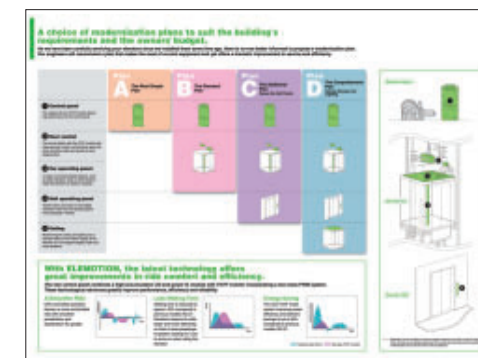
ELEMOTION for Overseas

国内向け三菱エレベーターモダニゼーションとして好評を博しているELEMOTIONの海外版を開発し、2004年9月に発売を開始した。

海外向けELEMOTIONでは、国内向けよりも更に流用可能機器を増やし、メニュー(分割改修)の幅を広げ、予算や工期に合わせて選択可能とした。その特長は次のとおりである。

- (1) 流用/取替え機器を段階的に選択できる豊富なプラン
- (2) 巻上機の流用だけでなく、巻上モータも流用可能(既設巻上モータオートチューニングシステム)
- (3) かご操作盤も既設品流用可能
- (4) 流用可能機器拡大による低コスト化、廃材減少による環境への配慮
- (5) オーナーの予算やニーズに合わせたメニューの選択
- (6) オーナーのスケジュールに合わせた工事期間の短縮
- (7) 乗り場インジケータや天井取替え等のオプションも充

実(ELENESSA, NexWayで適用されている操作信号器具も適用可能とした)
基本性能であるVVVF駆動制御はいずれのメニューにおいても装備され、高性能、高機能、安全性の向上、省エネルギーを実現している。



豊富なプラン



制御盤

非共沸混合冷媒R407Cを用いた 高温出湯形業務用ヒートポンプ給湯機

Heat Pump Unit to supply Hotter Water(over 60)for Some Institutions by Controlling and Varying Refrigerant Mixture Composition of R407C

安価な夜間電力を利用して蓄熱する蓄熱式ヒートポンプ給湯システムにおいて、貯湯温度の高温化を実現することは、衛生面で安心して使用することができ、かつ、貯湯スペースを縮小できるというメリットがある。この給湯機はHFC冷媒であるR407Cを充填(じゅうてん)し、その非共沸特性を生かし、組成調整機能を搭載することで、冷媒圧力の上昇を防止し、高効率でかつ高温の出湯を実現した。

主な特長は次のとおりである。

- (1) 年間を通じて65 貯湯を実現
 - (a) 給湯機と貯湯槽の間を水を循環させて昇温するため、放熱があっても保温運転により年間を通じて貯湯温度の維持ができる。
 - (b) 給湯機出口最高70 運転により、65 貯湯を可能とした(レジオネラ菌繁殖防止)。
- (2) 効率的な高温出湯を実現
 - (a) 比較的、貯湯槽水温が低いときは、冷媒循環組成を封入冷媒R407Cに近い状態で運転し、高能力で運転する。

(b) 貯湯槽水温の上昇に従い、冷媒循環組成を高沸点成分(R134a)高濃度とすることにより高圧上昇を抑制し効率良く運転する。

